

**令和2年度第1回
インターネット都政モニターアンケート**

「東京の農業・水産業」

調 査 結 果



調査実施の概要

- 1 アンケートテーマ
「東京の農業・水産業」
- 2 アンケート目的
社会情勢の変化に合わせた新たな視点を取り込み、農業・水産業をより魅力的な産業としていくため。
- 3 アンケート期間
令和2年6月17日（水曜日）から6月23日（火曜日）まで
- 4 アンケート方法
インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページから回答を入力する。
- 5 インターネット都政モニター数
500人
- 6 回答者数
494人
- 7 回答率
98.8%

※ 本報告書では、一部、過去の調査（平成27年6月実施「東京の農業」・平成21年6月実施「東京の農業」）との比較を行っています。

東京の農業・水産業

1 調査項目

- Q1 東京の農業との接点
- Q2 東京産農畜産物の認知度
- Q3 農畜水産物・加工食品に係る認証等の認知度
- Q4 東京産農畜産物の入手方法
- Q5 東京産農畜産物への期待
- Q6 東京の農業・農地についての意向
- Q7 東京の農業・農地に期待する役割
- Q8 東京の農地の保全
- Q9 東京の農業に関する欲しい情報
- Q10 東京の農業振興施策
- Q11 東京の農業についての意見（自由意見）
- Q12 東京産水産物のイメージ
- Q13 東京産水産物の認知度
- Q14 東京産水産物への期待
- Q15 水産資源の管理について
- Q16 東京の水産業者に期待する役割
- Q17 東京都の水産行政に求めるもの
- Q18 東京産水産物や東京の水産業について（自由意見）

2 アンケート回答者属性

		モニター 人数	回 答		
			人 数	構成比	率
全 体		500	494	-	98.8
性 別	男 性	250	250	50.6	100.0
	女 性	250	244	49.4	97.6
年 代 別	18・19歳	6	6	1.2	100.0
	20 代	67	67	13.6	100.0
	30 代	83	82	16.6	98.8
	40 代	99	96	19.4	97.0
	50 代	81	80	16.2	98.8
	60 代	77	77	15.6	100.0
	70歳以上	87	86	17.4	98.9
職 業 別	自営業	44	44	8.9	100.0
	常 勤	193	190	38.5	98.4
	パート・アルバイト	71	71	14.4	100.0
	主 婦	93	90	18.2	96.8
	学 生	23	23	4.7	100.0
	無 職	76	76	15.4	100.0
居住地域別	東京都区部	344	340	68.8	98.8
	東京都市町村部	156	154	31.2	98.7

※ 集計結果は百分率（%）で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがある。

※ n（number of cases）は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

※ 複数回答方法・・・(MA) = いくつでも選択、(3MA) = 3つまで選択、(2MA) = 2つまで選択

都内では、23区から多摩、島しょ地域に至るまで、地域の特色を活かした農業が展開され、新鮮で安全安心な農畜産物を提供しています。また、世界有数の大都市である東京の農業は、農畜産物の生産ばかりでなく、防災や良好な緑景観の形成、教育的な機能など、広く都民のみなさまと深い関わりがあり、多様なポテンシャルを有していることが大きな強みです。一方、農業者の高齢化による担い手不足や相続に伴う農地の減少など東京の農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いています。

都内で営まれる漁業や養殖などの水産業は、新鮮でバラエティ豊かな水産物を提供しています。また、東京には東京湾から伊豆諸島、小笠原諸島に至る広大な海域や、近年、水質浄化の進む多摩川などの河川があり、水産業には大きな潜在力があります。しかし、水産資源の減少や漁業者の高齢化、新規就業者数の減少などといった課題があります。

そこで、社会情勢の変化に合わせた新たな視点を取り込み、東京の農業・水産業をより魅力的な産業としていく施策づくりの参考とするために、都政モニターのみなさまにご意見をお聞きします。

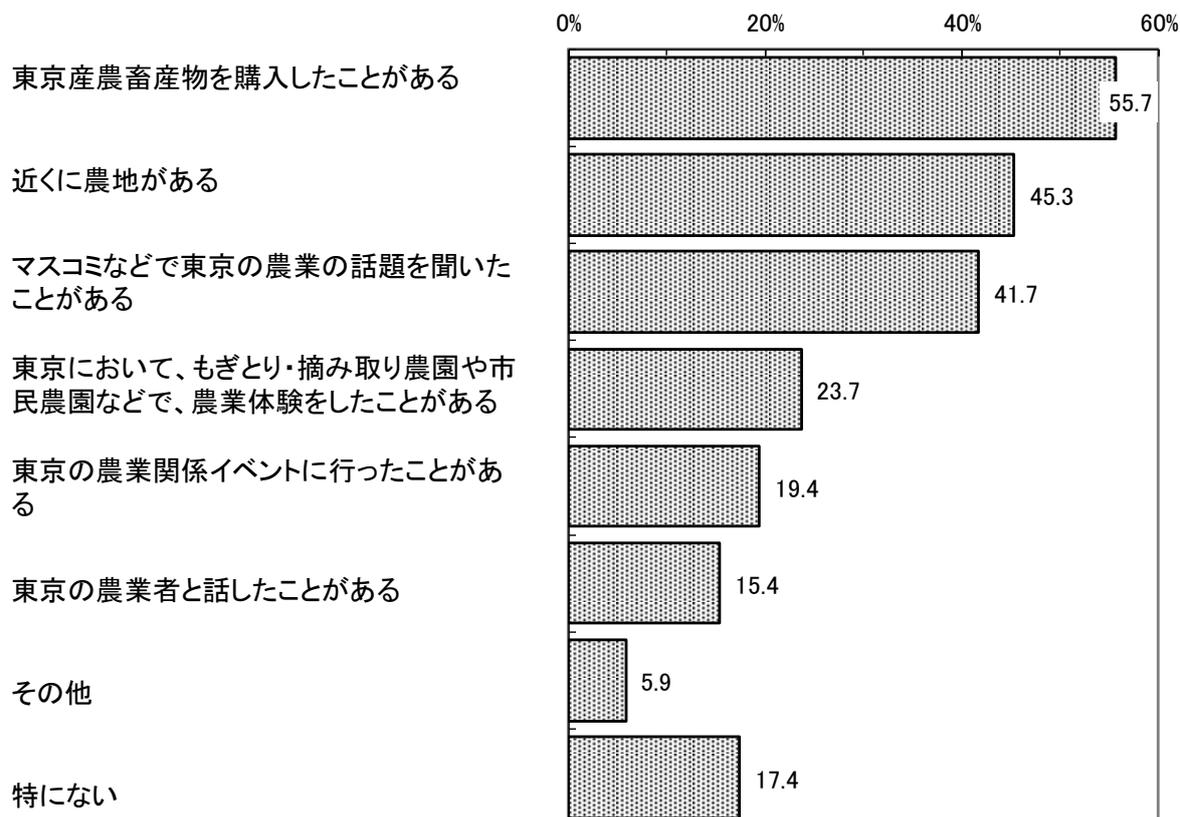
<参考>東京都産業労働局ホームページ

農業	https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/nougyou/
食の安全安心	https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/
水産業	https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/suisan/

東京の農業との接点

Q1 東京産農畜産物を食べたり、近くに農地があったり思いがけず農地を見かけたり、直売所などがあることにより、あなたは東京の農業を身近に感じたことがありますか。次の中からいくつでも選んでください。

MA (n=494)



【調査結果の概要】

東京の農業との接点について聞いたところ、「東京産農畜産物を購入したことがある」(55.7%)が5割半ばで最も高く、以下、「近くに農地がある」(45.3%)、「マスコミなどで東京の農業の話題を聞いたことがある」(41.7%)などと続いている。

◎ その他の主な意見

- ・ 援農ボランティア※1に登録し始めたため知っている
- ・ 家族が練馬区の農業体験農園※2を利用している。

※1 農業に強い関心を持ち、農家の作業を手伝うことで東京の農業を応援するボランティア

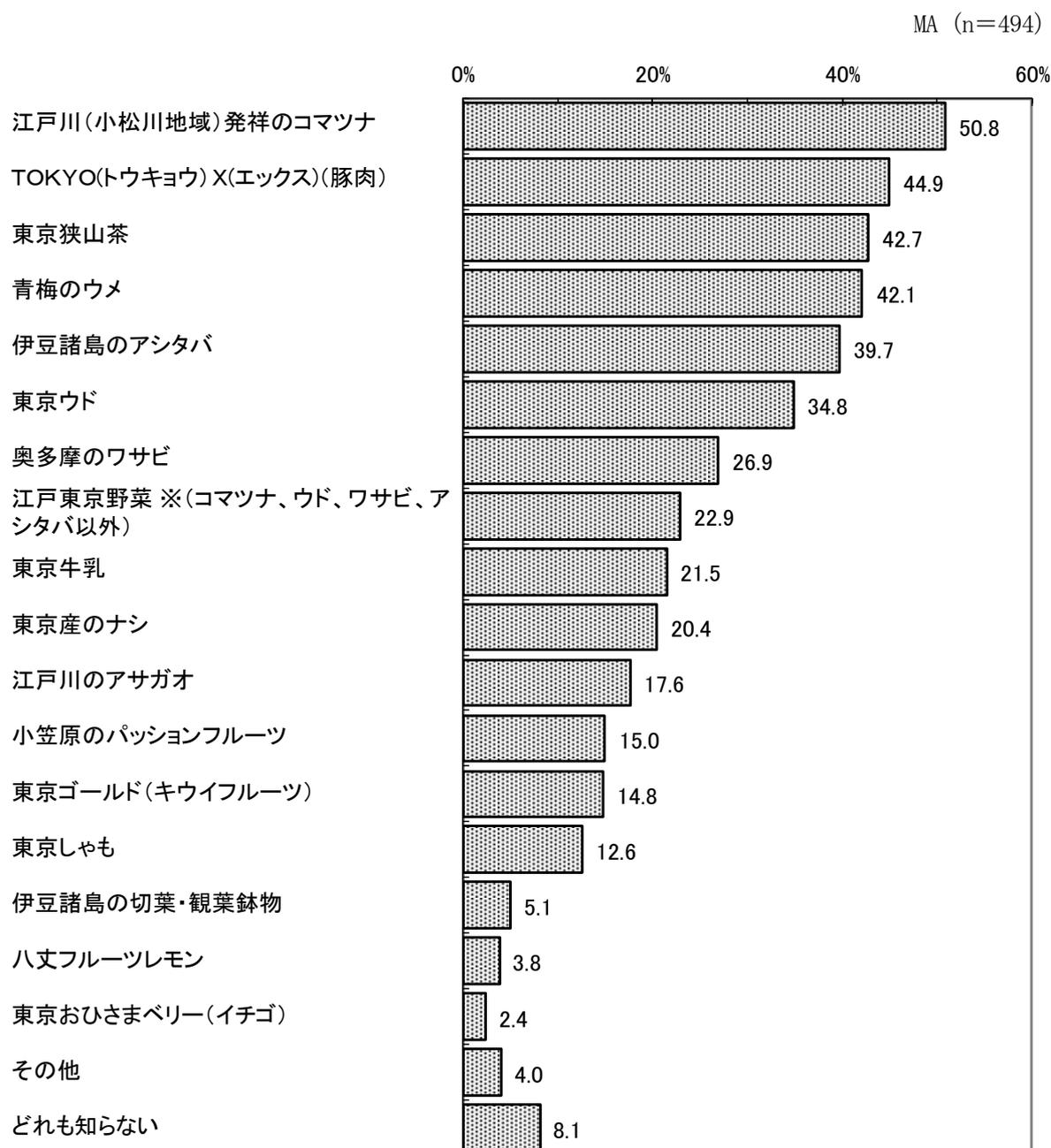
※2 農家が自ら開設し、きめ細かい指導を行う下で、都市住民が農業を体験する農園。初心者でも高品質な農産物を栽培することができる。

東京産農畜産物の認知度

Q2 東京都には、特産品や東京ブランドとなっている農畜産物も多数あります。あなたは、次に掲げる東京特産の農畜産物を知っていますか。次の中からいくつでも選んでください。

※ 各農畜産物の実際の画像や産地等の詳細については、こちらをご参照ください。

「TOKYO GROWN | 東京の農林水産総合サイトー東京の特産 (<https://tokyogrown.jp/product/>)



※ 江戸東京野菜：江戸から昭和40(1965)年頃にかけて現在の東京周辺で作られていた、伝統野菜。JA東京中央会が商標登録し、練馬ダイコン、伝統大蔵ダイコン、亀戸ダイコン、馬込三寸ニンジン、馬込半白キュウリ、寺島ナス、滝野川ゴボウなど50品目が認定されています。

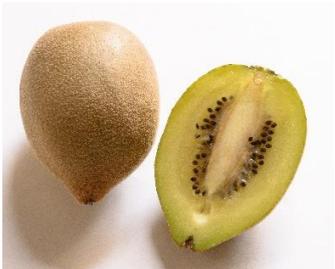
【調査結果の概要】

東京産農畜産物の認知度について聞いたところ、「江戸川（小松川地域）発祥のコマツナ」（50.8%）が約5割で最も高く、以下、「TOKYO X（トウキョウ エックス）（豚肉）」（44.9%）、「東京狭山茶」（42.7%）、「青梅のウメ」（42.1%）、「伊豆諸島のアシタバ」（39.7%）などと続いている。

◎ その他の主な意見

- ・ 練馬大根
- ・ ブルーベリー

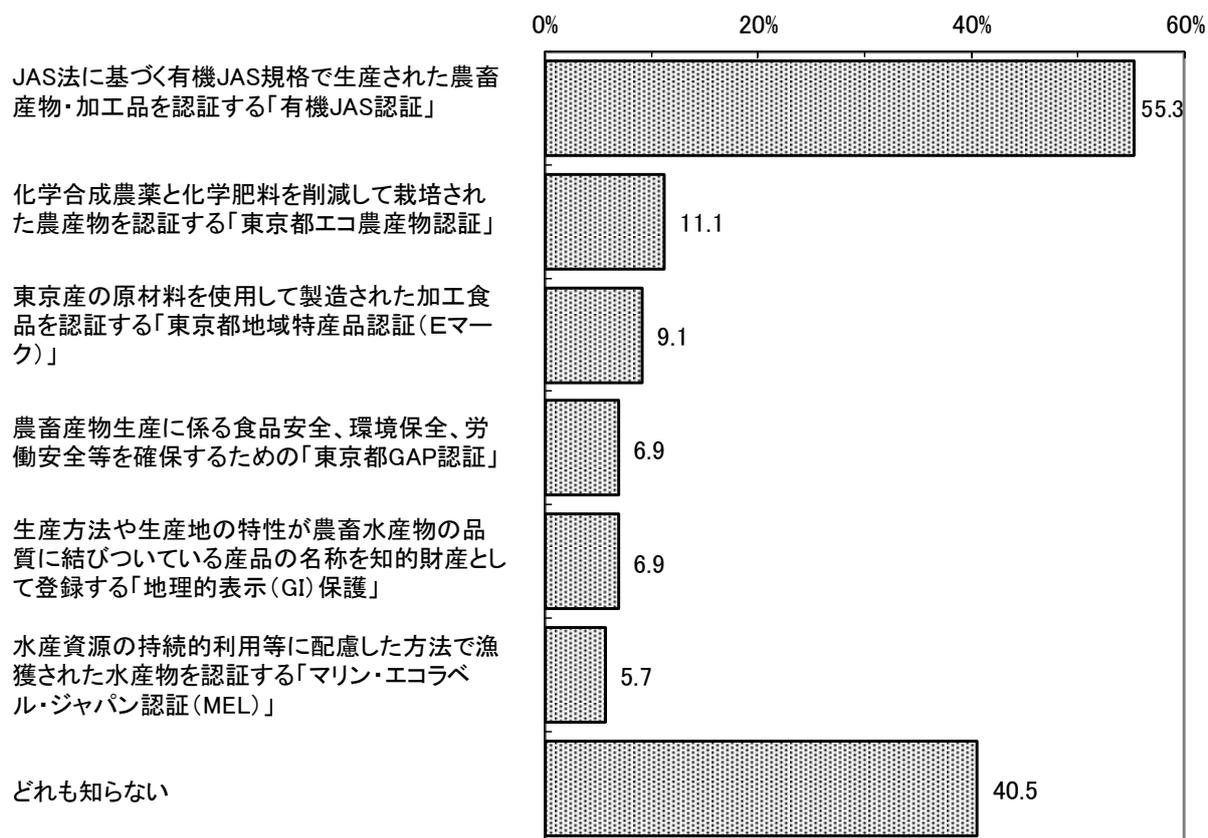
○東京産農畜産物の例

	
小松菜(コマツナ)	明日葉(アシタバ)
	
江戸東京野菜((例)馬込三寸ニンジン)	東京ゴールド(キウイフルーツ)
	
東京おひさまベリー(イチゴ)	東京狭山茶
	
東京しゃも	TOKYO X (トウキョウ エックス) (豚肉)

農畜水産物・加工食品に係る認証等の認知度

Q3 都内で生産される農畜水産物・加工食品の中には、食品の安全確保や農畜水産業の持続的発展の観点から、様々な認証や登録を受けているものがあります。あなたは、こうした認証・登録について、知っていますか。次の中からいくつでも選んでください。

MA (n=494)



【調査結果の概要】

農畜水産物・加工食品に係る認証等の認知度について聞いたところ、「有機 JAS 認証」(55.3%)が5割半ばで最も高く、以下、大きく離れて「東京都エコ農産物認証」(11.1%)、「東京都地域特産品認証 (Eマーク)」(9.1%)などと続いている。

なお、「どれも知らない」(40.5%)は、約4割であった。

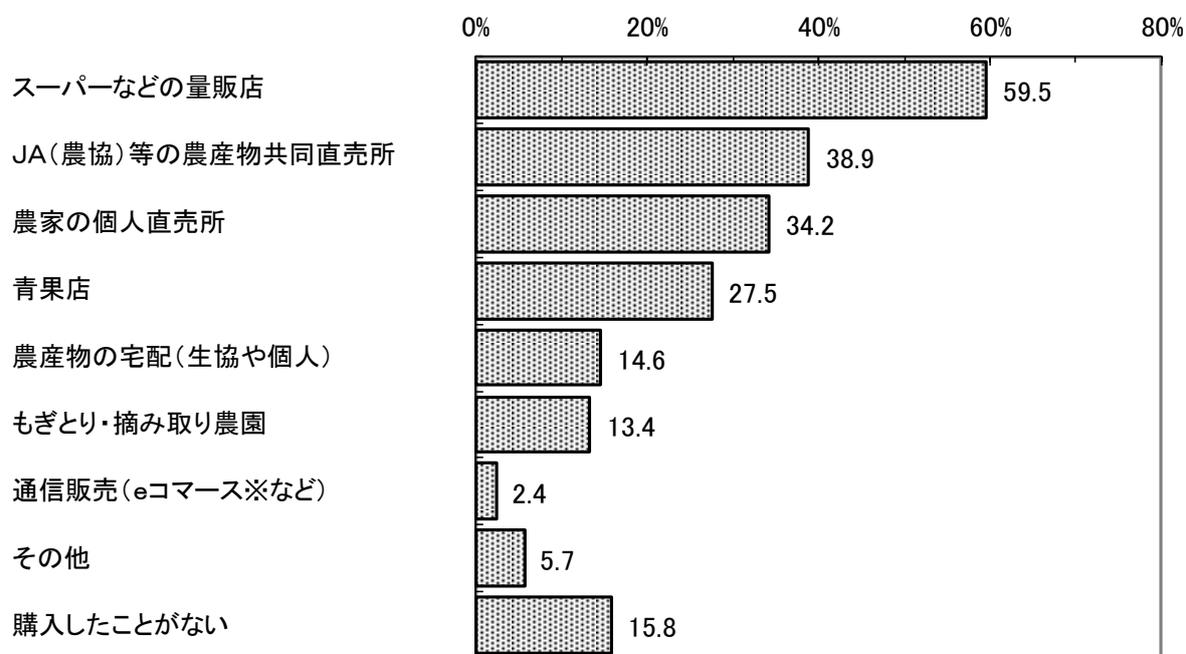
○農畜水産物・加工食品に係る認証等

 <p>有機 JAS マーク</p>	<p>※1 有機 JAS 認証(農林水産省ホームページ) https://www.maff.go.jp/j/jas/jas_kikaku/youuki.html</p>
 <p>認証マーク</p>	<p>※2 東京都エコ農産物認証制度(産業労働局ホームページ) https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/norin/syoku/econosanbutu/econosanbutu.htm</p>
<p>東京都 G A P</p> <p>認証ロゴ例</p>	<p>※3 東京都における GAP の推進(産業労働局ホームページ) https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/anzen/gap</p>
 <p>E マーク</p>	<p>※4 東京都地域特産品認証食品 (産業労働局ホームページ) https://www.e-mark-iishina.metro.tokyo.lg.jp/</p>
 <p>MEL マーク</p>	<p>※5 マリン・エコラベル・ジャパン (MEL) 認証 ((一社)マリン・エコラベル・ジャパンホームページ) https://www.melj.jp/standard</p>
 <p>GI マーク</p>	<p>※6 地理的表示 (農林水産省ホームページ) https://www.maff.go.jp/j/shokusan/gi_act/</p>

東京産農畜産物の入手方法

Q4 あなたは、東京産農畜産物をどこで購入したことがありますか。次の中からいくつでも選んでください。

MA (n=494)



※ eコマース (electronic commerce(電子商取引)) : 商品やサービスをインターネット上で売買することで、「ネットショッピング」、「イトレード」、とも呼ばれている。

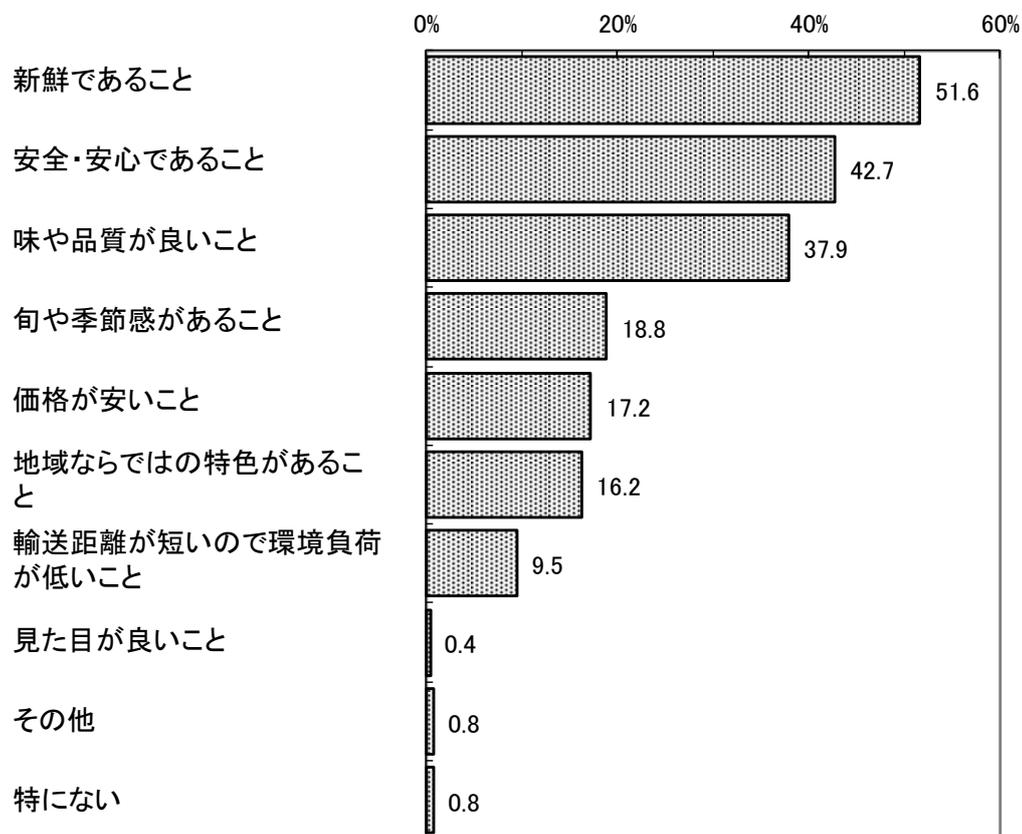
【調査結果の概要】

東京産農畜産物の入手方法について聞いたところ、「スーパーなどの量販店」(59.5%)が6割近くで最も高く、以下、「JA(農協)等の農産物共同直売所」(38.9%)、「農家の個人直売所」(34.2%)などと続いている。

東京産農畜産物への期待

Q5 あなたは、東京産農畜産物に何を期待しますか。次の中から2つまで選んでください。

2MA (n=494)



【調査結果の概要】

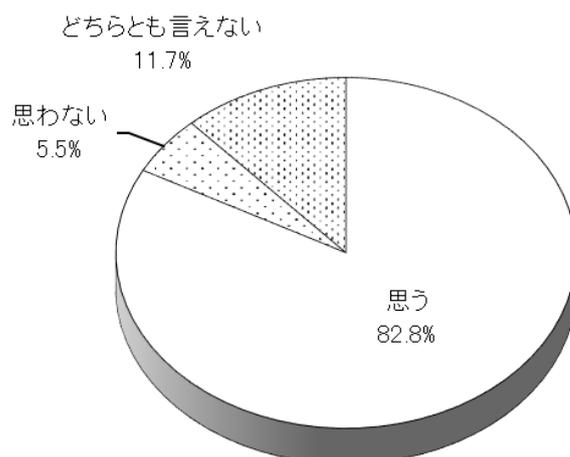
東京産農畜産物への期待について聞いたところ、「新鮮であること」(51.6%)が約5割で最も高く、以下、「安全・安心であること」(42.7%)、「味や品質が良いこと」(37.9%)などと続いている。

東京の農業・農地についての意向

Q6 東京の農業は、収益性の悪化や担い手不足などの厳しい環境に置かれています。また、農地は、都市化の影響や相続を契機として年々減少を続けています。

東京のような大都市の中に農業・農地は必要なのかという議論がありますが、あなたは、東京に農業・農地を残したいと思いませんか。

(n=494)



【調査結果の概要】

東京の農業・農地についての意向を聞いたところ、約8割が東京に農業・農地は必要だと「思う」(82.8%)と回答しており、「思わない」(5.5%)を大きく上回っている。

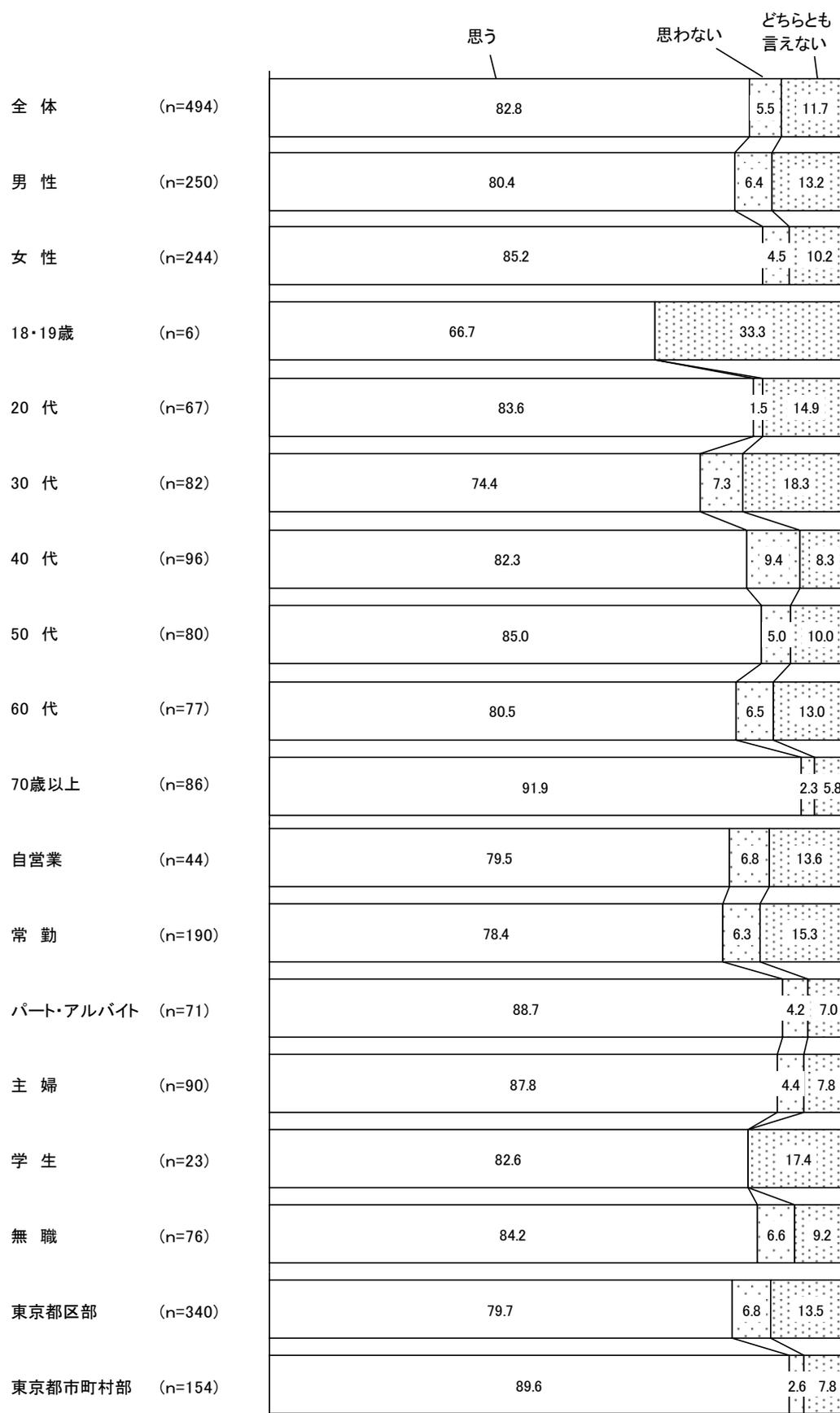
前回調査との比較では、「思う」が2.7ポイント減少している。

◎参考 過去2回の調査結果との比較

	思う	思わない	どちらとも言えない
令和2年度(n=494)	82.8	5.5	11.7
平成27年度(n=475)	85.5	5.7	8.8
平成21年度(n=494)	84.6	3.4	11.9

※ 平成27年6月実施「東京の農業」・平成21年6月実施「東京の農業」

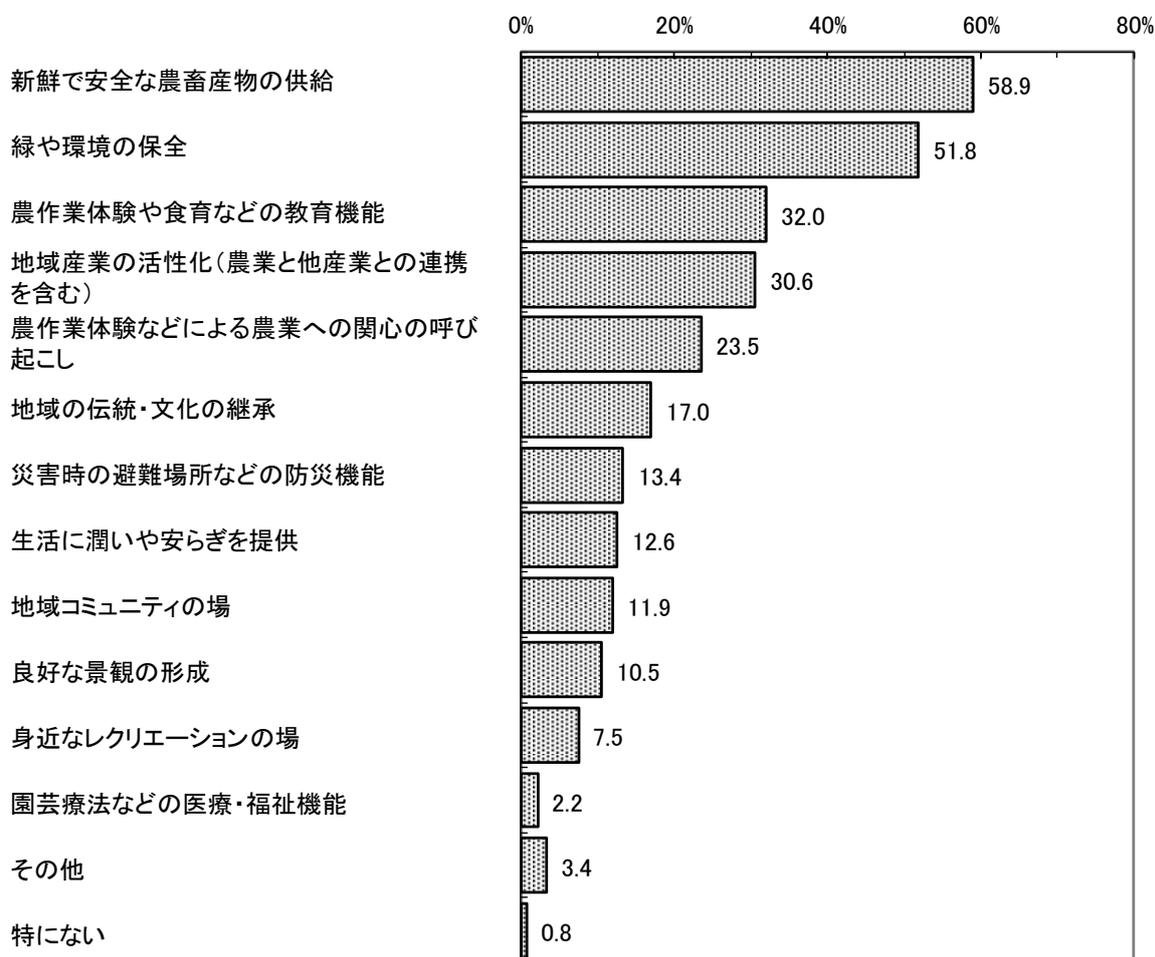
◎東京の農業・農地についての意向（属性別）



東京の農業・農地に期待する役割

Q7 あなたは、東京の農業・農地にどのような機能や役割を期待しますか。次の中から3つまで選んでください。

3MA (n=494)



【調査結果の概要】

東京の農業・農地に期待する役割について聞いたところ、「新鮮で安全な農畜産物の供給」(58.9%)が6割近くで最も高く、以下、「緑や環境の保全」(51.8%)、「農作業体験や食育などの教育機能」(32.0%)などと続いている。

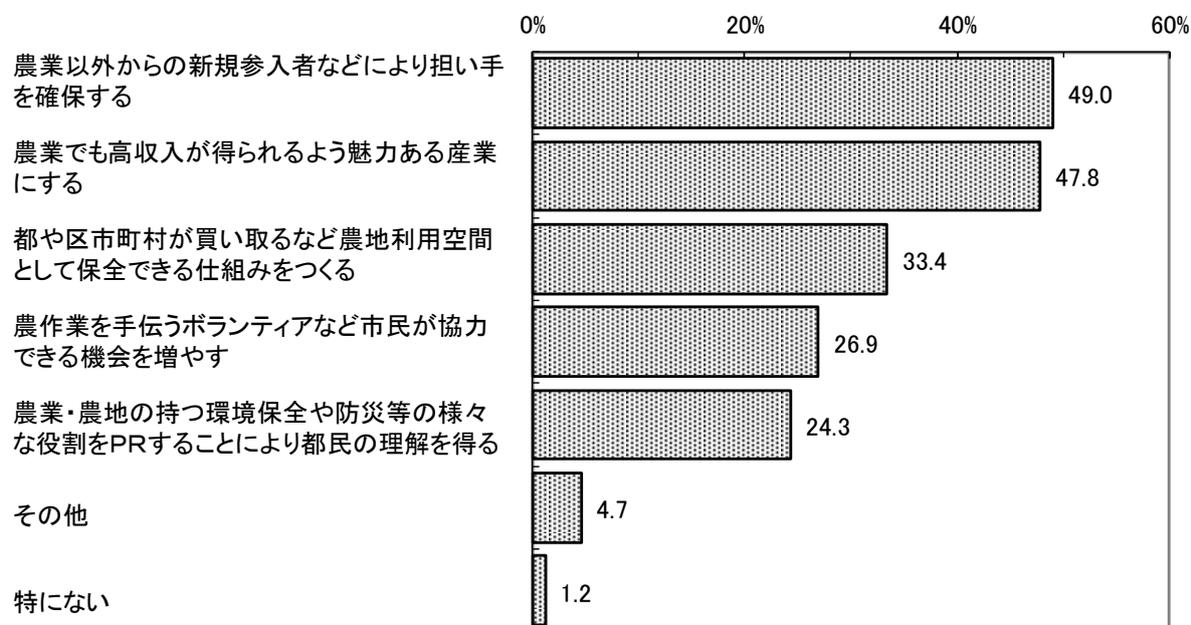
◎ その他の主な意見

- ・ 温暖化防止の役割も重要だと思う。CO₂吸収のみならず、舗装・建物だらけでは熱だけを排出するだろうし、緑のない風景はありえない。

東京の農地の保全

Q8 あなたは、東京都や区市町村が農地を保全するために、どのような対策を行う必要があると思いますか。次の中から2つまで選んでください。

2MA (n=494)



【調査結果の概要】

東京の農地の保全について聞いたところ、「農業以外からの新規参入者などにより担い手を確保する」(49.0%)が5割近くで最も高く、以下、「農業でも高収入が得られるよう魅力ある産業にする」(47.8%)、「都や区市町村が買い取るなど農地利用空間として保全できる仕組みをつくる」(33.4%)などと続いている。

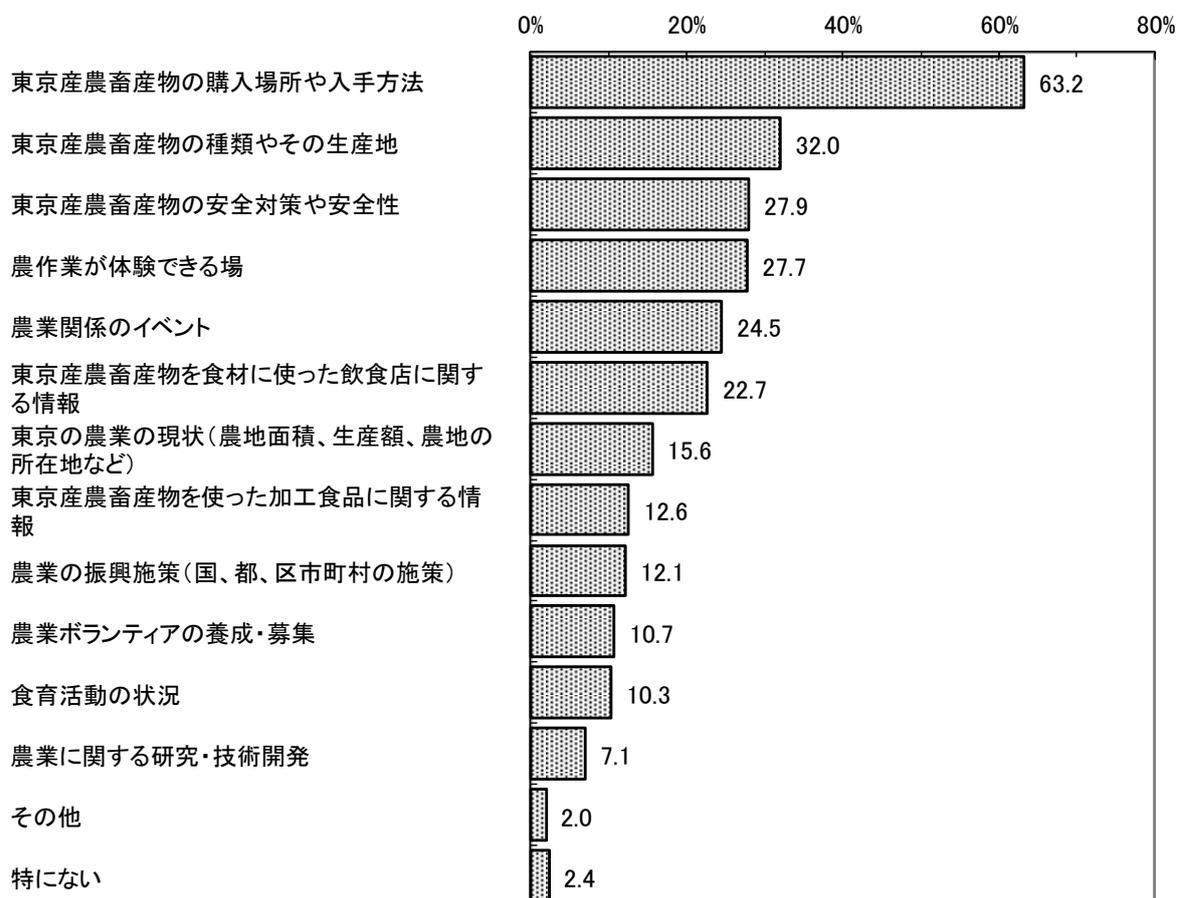
◎ その他の主な意見

- ・ 教育機関と連携して、課外活動として農業に触れさせる機会を増やす。

東京の農業に関する欲しい情報

Q9 あなたは、東京の農業や農畜産物に関してどのような情報を得たいですか。次の中から3つまで選んでください。

3MA (n=494)



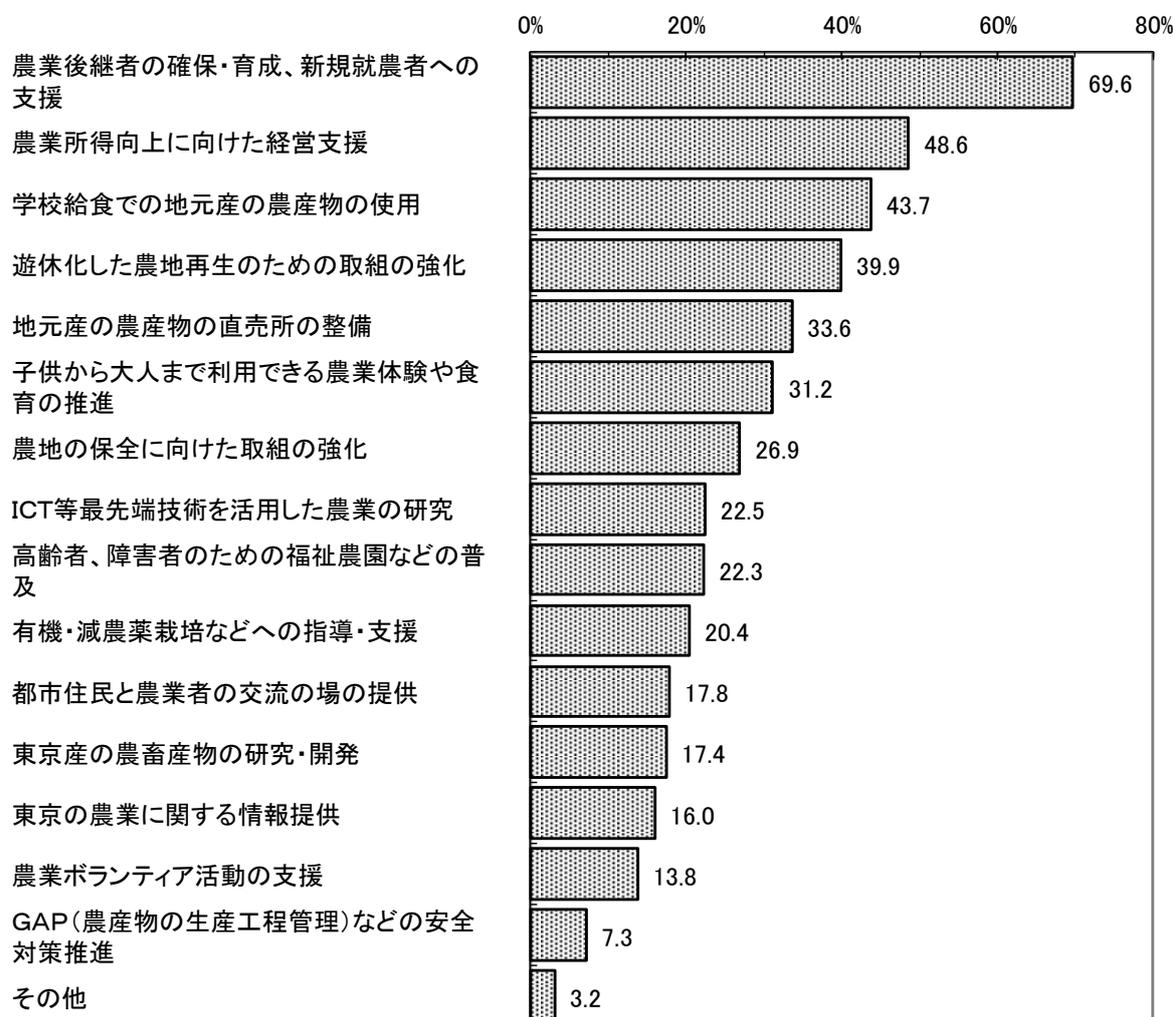
【調査結果の概要】

東京の農業に関する欲しい情報について聞いたところ、「東京産農畜産物の購入場所や入手方法」(63.2%)が約6割で最も高く、以下、「東京産農畜産物の種類やその生産地」(32.0%)、「東京産農畜産物の安全対策や安全性」(27.9%)などと続いている。

東京の農業振興施策

Q10 あなたは、東京の農業の振興のために東京都がどのような施策に力を入れるべきだと考えますか。次の中から5つまで選んでください。

5MA (n=494)



※ ICT導入の事例（「東京型統合環境制御生産システム」の開発）

東京都では、温度や光といった作物の生育環境要因をコンピューターで統合的に制御することで、高収量と高品質化を可能とする農工融合型の新しい生産技術の開発を進めています。これにより東京のような限られた農地面積であっても収益性の高い農業経営を実現することを目指しています。

【調査結果の概要】

東京の農業振興施策について聞いたところ、「農業後継者の確保・育成、新規就農者への支援」(69.6%)が7割近くで最も高く、以下、「農業所得向上に向けた経営支援」(48.6%)、「学校給食での地元産の農産物の使用」(43.7%)、「遊休化した農地再生のための取組の強化」(39.9%)、「地元産の農産物の直売所の整備」(33.6%)などと続いている。

東京の農業についての意見（自由意見）

Q11 東京の農業振興や農地保全について、あなたのご意見を自由にお書きください。

(n=450)

- | | |
|----------------------|-------|
| (1) 農業振興に関する意見 | 221 件 |
| (2) 農地保全に関する意見 | 87 件 |
| (3) 広報活動や情報入手に関する意見 | 50 件 |
| (4) 東京産農畜産物に関する意見 | 43 件 |
| (5) 農業体験や教育、食育に関する意見 | 35 件 |
| (6) その他 | 14 件 |

（主なご意見）

(1) 農業振興に関する意見 221 件

- 産地と消費者の距離が物理的に近いということは、鮮度等はもちろん、食育の観点から見ても非常に有意義なものと考えられるので、課題も多いとは思いますが、農業振興は進めていくべきだと思ふ。また、今回のアンケートで初めて知ったことも多かったので、多様なメディアを通じて周知を図るといったソフト面での対策も必要と思ふ。
(男性 20代 世田谷区)
- 私の住んでいるところの近くには、農家さんの直売所がいくつかあるので、農業は身近に感じています。しかし、農地が少なくなっているということも実感しているので、もっと農業振興や農地保全に力を入れてもらいたいと思ふ。農地だったところが別の建物になってしまうと、また一つ自然がなくなってしまうと悲しい気持ちになります。新しく農業に携わる人を増やすために、もっと農業の魅力を発信してほしいと思ふ。
(女性 20代 練馬区)
- 東京都には、身近な環境に農地がある地域は限られている中で、現状の農地を維持して行ってほしいと思ふ。そのためには、東京都で作られた農産物の消費を促す必要があります。東京都の飲食店が積極的に地産地消を行うことで消費されると考えます。そのため、東京都の農産物のブランド価値向上、認知度増を図るべく、広報活動や企業とのタイアップなどの施策が必要だと考えます。
(男性 20代 八王子市)
- 農業は、特殊な技術やスキルが必要なため、興味があっても、転職感覚で農業を生業にする人は少ないと思ふ。農業が就職・転職の一つの選択肢となるよう、テクノロジーの活用やスマートなオペレーション構築を進め、安定収入を得られる仕組みを整えることで、ゆくゆくは都が支援しなくとも農業は振興・保全されていくと思ふ。
(女性 30代 文京区)
- 農業は、所得が低いイメージがあったり、先進的でないイメージが若い時には

ありました。最近は、農業×ITが進んできているのを感じます。ただ、若者が就職先の一つとして農業を考えるようになるには、農業は経験と勘に加え、先進的技術で成り立っていることが伝わるとよいのではないのでしょうか。個人的には、野菜の苗を近所の農園で売ってもらえたり、農業体験が気軽にできることから始めていけるとよいと思います。農園を経営されている方の直売所では新鮮な野菜や果物が安く買えるので嬉しいです。
(女性 30代 府中市)

○ 農業で生計を立てられるモデルケースが増加しないことには、担い手が増えずに先細りするのには避けられない。そのため、都による支援・サポートや情報提供が欠かせないと考えます。
(男性 30代 西東京市)

○ 緑地計画も含めた農地が急激に減少していて、環境保全においても、景観についても、とても危ぐしています。多摩地区の野菜がとても美味しいので、区部でももっと販売してほしいし、もっとPRもしていただきたい。
(男性 40代 江東区)

○ 農園主から1年契約で土地を借りて農業体験をしています。3年目になります。健康にも良いですし、野菜を作るというのは大変な作業だということが分かります。私の周りにも野菜や果物を育てたいという方はたくさんいます。なぜできないかは、生きているものなので世話をしないといけないからです。時間に余裕がないからです。農園主さんは、大変かと思いますが、私たちが収穫をして、お金を払うとか単発でも土と触れ合う機会を持つことで、身近に農業を感じることで関心が高まると思います。農作物だけで生計を立てるのは難しいかと思いません。都や区や市が協力して農作物に付加価値を付けて、地域との触れ合いに役立てられればと思います。
(女性 40代 杉並区)

○ 今回、東京農業振興プランを初めて確認し、農業振興に多方面からの取組が行われていることが分かりました。また、東京都では、都の特色を活かすための取組を行なっていることが分かりました。一方で、一次産業の課題は、東京都に限らず、日本全国共通の課題でもあることも再認識しました。東京(江戸)由来の農作物に、安心・安全や、栄養価などの付加価値を高めるための研究が継続的に進み、他県や海外からの引き合いが来るような産業に発展していく必要があると感じました。農地保全については、その重要性を都民全体で共有し、農業当事者のみの課題ではなく、都の課題と認識し、税金による補助等が必要と思います。
(男性 40代 立川市)

○ 東京で農業を残していくため、ボランティアや近隣住民の理解といったことも必要ですが、現実問題として農業者が十分な生活水準を確保できることが重要ではないのでしょうか。その観点では、農業の大規模化が理想かもしれませんが、東京では極めて困難でしょう。従って、農業者が低コストで農地を確保できること(都による農地の低賃料での貸し付けや固定資産税免除によるランニングコストの低減等)、十分な収入を確保できること(学校給食への優先的供給、都による買い付け等)、すなわち、農業でも十分に生活していける環境を整備することが必要ではないかと思えます。
(男性 40代 小平市)

- 後継者不足により農地が少なくなることで、農業が衰退することがないように、取組が必要ではないでしょうか。食料自給率がますます低下してしまいます。日々の買い物では、なるべく地産地消を心掛け、産地を見て購入しています。新鮮で安全な野菜は、健康な体作りに不可欠と考えます。農家の方以外でも、農業に興味を持っている人がいれば支援の体制があればと思います。

(女性 50代 世田谷区)

- 多摩地区、例えば国立市谷保辺りには、今も農地がたくさん広がり、小川にはメダカが泳ぎ、子どもたちにぜひ見せたい風景です。それを見れば、何かお手伝いしてみたい、土にまみれてみたい、美味しい作物を買いたい食べたい、と思う方はたくさんいると思います。どうか、東京の美しい農地や働く方々を紹介していただき、ボランティアが畑仕事から販売まで、何か関わられるように手配していただけたらと思います。大人も、小中高生も農業を愛し、敬う世の中になればなあと思います。販売拠点も、ボランティアやアルバイトを動員して、もっともっと増やしていただきたいです。スーパーだと、安い外国産などとの競争になり、大変です。小さくても専門の販売所の方が、有利かと思います。駅の広場とかなら、はっぴを着て、ボランティア参加してみたいです。

(女性 50代 国立市)

- 農業は、一旦廃れてしまうと、元には戻りません。今ある農地を残して、地域の人の参加や子供の食育に生かすなどの政策が必要です。

(男性 50代 西東京市)

- 地産地消の重要性を強く感じております。子供や孫の成長過程においても最重要課題だと思います。眠っている土地などもフルに活用して都による育成をしていただくことを期待しております。

(女性 60代 武蔵野市)

- 農地を守るためには、相続で散逸しない制度が必要だと思います。江戸期から続く農家と農地を守る制度を、都と市区町村で作りに上げて欲しいです。農地と土壌を守るために、農家には地域に開かれた農業を義務づける一方、農地の円滑な相続を認めてはいかがでしょうか。農家には、農業体験農園、児童生徒への食育への支援に参加していただいたり、都民への農産物供給を担っていただきたいです。また、新規就農も支援していただきたいです。(女性 70歳以上 練馬区)

- 東京のような都市部での農業のあり方とどちらかと言えば地方の田園地帯の農業のあり方とは異なると思います。都市部での農業は税制優遇措置がなされているとはいえ、周辺に住むサラリーマン等との労働格差や収入の差が大きい。農業従事者が安心して農業に専念できる制度がほしい。(男性 70歳以上 府中市)

(2) 農地保全に関する意見 87件

- 近年は、東京の都市部だけではなく、郊外も開発が進んでいるのを感じます。

私が住んでいる地域でも人口が増え、農地や緑地が次々にマンションや住宅地に変わっていき、このままでは東京の農地や緑地がなくなってしまうのではないかと不安です。国や東京都が農地を買い取って整備し、農業就業者の雇用を守り、そこで作られた農作物を買うことで、地産地消で持続可能な社会を実現してほしいです。
(女性 20代 日野市)

- 最近、シェア畑のようなものをよく見かけるようになりました。以前は静岡に住んでいて畑をよく見かけたのですが、東京に来てからあまり見かけることがなく、小さい畑でもあるとほっとする感じがします。また、農業の活性化と言うのは、人間が生きていくために欠かせないもので、それを東京以外の土地にまかなくてももらうのは違うかなと思います。子供への食育の意味でも大切にしていきたいものだと感じます。
(女性 30代 練馬区)
- 食べ物がどのように作られているか、知ることは子どもたちにとって非常に重要であり、知る環境が身近にあることが大事である。また、都市環境においても、農地があることはメリットが多いので、農地がある環境を整備してほしい。
(女性 40代 板橋区)
- 都内とはいえ、広い農地は様々な震災が増えている今日、何かあったら、避難出来るスペースとして活用していただきたいです。子供や高齢者、誰でも参加できる、野菜作りや花等の作れる場所として広く解放し、普段からコミュニティの場所になるとよいと思います。
(女性 40代 立川市)
- 東京の農業振興や農地保全について、大変重要だと感じています。人間としての生活を感じることができ、食育や災害などにも役立つと思うからです。東京都は公園が充実しており、隣接した農園の設置もよいと思います。遊休地の活用の1つとして農園利用はよいと思います。様々な意見を取り入れて、農地保全を少しでも維持できたらよいと思います。
(女性 50代 墨田区)
- 近年、農地の宅地化が目立っています。就農者の高齢化などで後継者不足もあるようです。中には、相続に絡んで農地の売却を決断しているケースも見受けられます。このようなことから、地域を含めての後継者育成、相続に関し、税制面での優遇措置等、検討する余地があるかと思います。また、東京産の農畜製品の販売店や、安全性など、PRの充実を期待します。身近なところで入手できる環境整備も消費に結びつくことになると信じます。
(男性 60代 練馬区)
- 今住んでいる市は農地も多く、エンジンの産地としてもかなり知られていると思うが、しばらく行かないうちに小規模な住宅地になっていることが見受けられるようになった。農地は住宅地として簡単に転換できないと認識していたが、背景には後継者問題があるのではと思った。この現状は東京都に限ったことではないが、農業振興や保全には避けて通れない問題である。農業に携わる人達が、農業の魅力や大変さを、裏表なく生の声を発信することで、詳細な対策が見えてくると思う。
(男性 70歳以上 清瀬市)

(3) 広報活動や情報入手に関する意見 50件

- 農業について学んだ記憶があるのは、小学生の時であったと思います。また、中学生の時に田植え体験をしました。あまり農業に馴染みがなく、自分が食べているものは誰が作ってくださっているのかは分かりません。若者でも何か農業が身近に感じられるイベントがあるとよいと思いました。以前銀座にて、食や農業についての展示が無料で行われていて、たまたま近くを歩いていたので見ました。興味深く、ふらっと入れるイベントだと、多くの方が興味を示すのではないかと思います。(女性 20代 足立区)
- 江戸野菜・地元の品種等を使ったお弁当を食べながら、生産者のお話を聞くイベントに参加したことがあります。東京にも独自の野菜があったことを初めて知り・食べました。このような発信をもっとやってほしいと思います。(女性 60代 中野区)
- 都民の中には、食品、特に農産物に関して関心が高い人が多いと思われます。しかし、どのような特産品があるのか、その特徴やメリット、販売場所、購入方法など、情報提供が少ないです。ぜひもっと広報をお願いします。(女性 60代 八王子市)
- 親戚に農業を営んでいる方がいますが、畑でできた野菜はどれも美味しく新鮮です。自宅近くにも農地があり、季節になると野菜や果物が育っていく様子を見ることができて、この環境が大好きです。これからも東京の美味しい味を守っていただきたく、東京都として農地や農業関係者の大切さや、やりがいなどをアピールしていただければと思います。(女性 60代 武蔵野市)

(4) 東京産農畜産物に関する意見 43件

- 量よりも質を重視し、付加価値の高い農産物を研究開発してほしい。味、栄養価、有機など。(男性 30代 港区)
- 青森から東京に来たのですが、近くに農園があつたり、東京産の野菜の直売所もあり、農業が身近なものであることにほっとしています。食べるものが近くで育てられていることに安心感を覚えます。東京で育てられない野菜や果物もあると思いますが、現在、生産されているものは引き続き、生産量を増やし、入手しやすい環境を整えてもらえたらと思います。(女性 50代 世田谷区)
- 身近な場所に農地があることは、日常生活に潤いを与えます。加えて、東京に住んでいても農産物を地産地消できるのが、食生活の基本になると考えるので、東京における農業振興には大いに力を尽くすべきです。それにはまず、東京といったらこれというような特徴ある主要農産物を創造するのがよいのではないのでしょうか。話題性があつて、経済効果もあるようなニッチな有力農産物がまだまだあるような気がします。(男性 50代 練馬区)

- 八王子に住んでいます。周りには田畑もあり、JA 販売所・道の駅など東京産の農作物には親しみがありません。産地・生産者が明らかになれば、安全性も高まると思いますし、やはり販売までの距離が短く、時間も短縮など考え、品質の良い農作物を購入できます。ぜひ、これまで以上に東京産の農作物を増やすように期待します。そしてなるべく東京産（地産）の農作物を購入したいと考えます。

(女性 60代 八王子市)

(5) 農業体験や教育、食育に関する意見 35件

- 1年前に福岡から東京に引っ越してきました。正直、東京は都会なので緑がなかったり、農地とは無縁だと思っていましたが、身近に農地や農園があることに驚いております。地球温暖化が進んでいる中、農地等の緑があるということは、気温上昇を防ぐことにもなるのでとてもよいことだと思いますし、子どもたちの教育にも実体験として生かされ、自然を大切にする心が育つと思います。私自身、小学校中学校で合鴨農法での田植え体験や農業の人たちとの交流、学校内で野菜を育てて収穫してそれらを使った調理実習を体験して大人になってきました。だからこそ、自然を大切に食べ物を大切にする気持ちが今でもあります。子どもたちにもこのような体験を通して、食べ物大切さや生き物大切さ、環境問題などについて深く考えてもらう体験があればよいと思います。

(女性 20代 世田谷区)

- 近隣の最近まで農地だった土地が減り、どんどん宅地になってきている。相続や後継者等の問題だと思うが、都市で子供たちに畑を見せられる貴重な場所なので、大変残念である。区民の貸し出し農園で本格的に畑仕事をするまでは余裕がないが、親子で参加できる農業体験イベントがあると、とてもありがたい。

(女性 40代 中野区)

- 東京の中にでも、農地を大切に、農作物を育てている姿を見ることがあります。それは大変なご苦労があると思いますが、そのことを、小さな子どもたちが見て学ぶことは多くあると思います。そのことから、農作物や生産者に対する思いや大切さが育って行くと考えます。

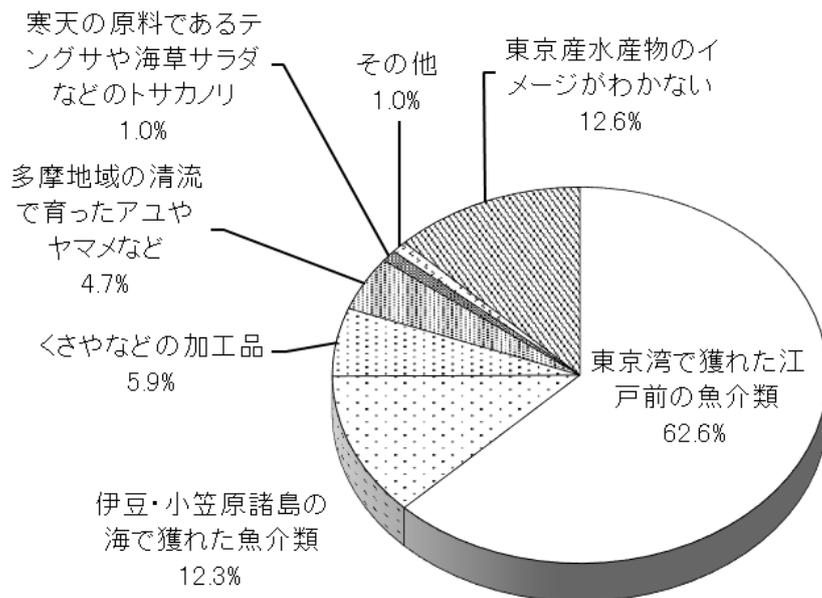
(女性 60代 北区)

東京産水産物のイメージ

Q12 あなたが抱く東京産水産物のイメージについて、次の中で最も近いものは、どれですか。

(n=494)

- 各水産物の産地等の詳細については、こちらをご参照ください。
「TOKYO GROWN | 東京の農林水産総合サイトー東京の特産物」
(<https://tokyogrown.jp/product/>)



【調査結果の概要】

東京産水産物のイメージについて聞いたところ、「東京湾で獲れた江戸前の魚介類」(62.6%)が約6割で最も高く、以下、「伊豆・小笠原諸島の海で獲れた魚介類」(12.3%)、「くさやなどの加工品」(5.9%)などと続いている。

○東京産水産物の例



江戸前の魚介類(アサリ)



伊豆・小笠原諸島の魚介類(キンメダイ)



伊豆・小笠原諸島の魚介類(カツオ)



多摩地域の魚類(アユ)



水産物の加工品(くさや)

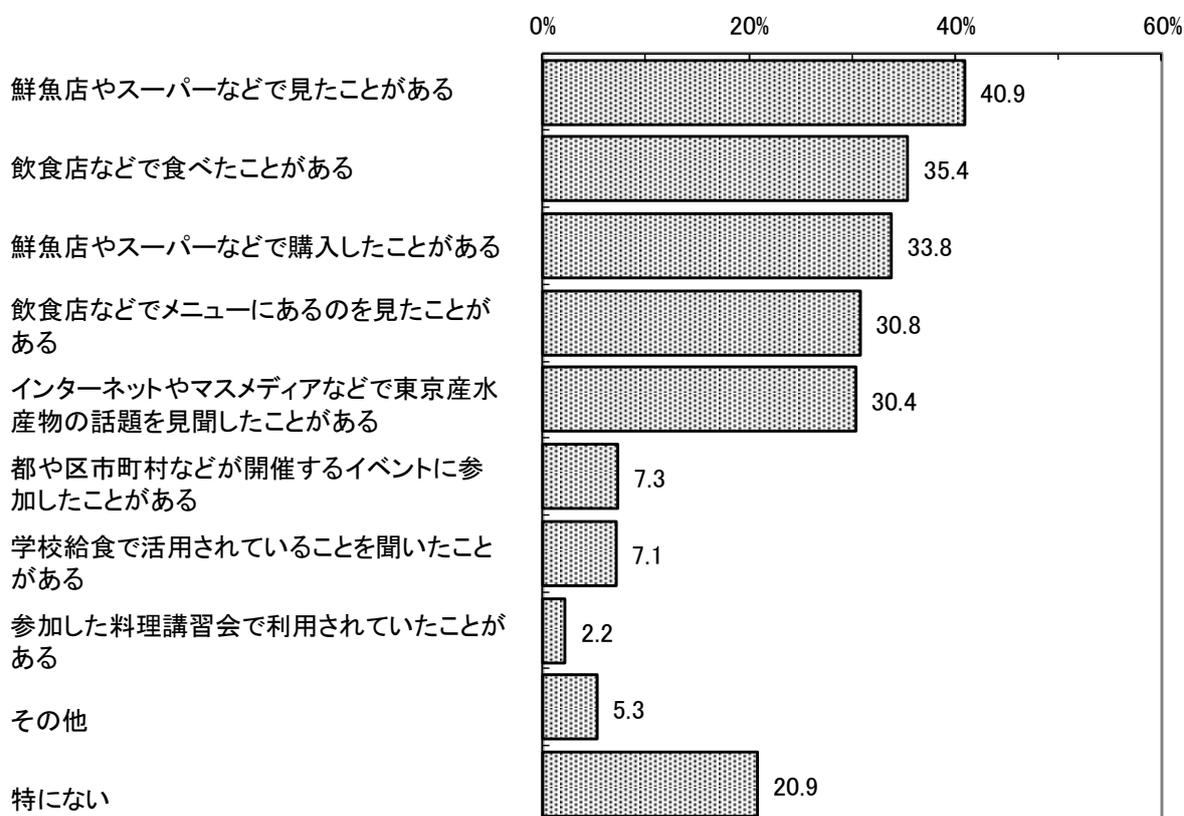


寒天の原料(テングサ)

東京産水産物の認知度

Q13 あなたは、東京産水産物にどのような形で関わったことがありますか。次の中からいくつでも選んでください。

(MA) (n=494)



【調査結果の概要】

東京産水産物の認知度について聞いたところ、「鮮魚店やスーパーなどで見たことがある」(40.9%)が約4割で最も高く、以下、「飲食店などで食べたことがある」(35.4%)、「鮮魚店やスーパーなどで購入したことがある」(33.8%)などと続いている。

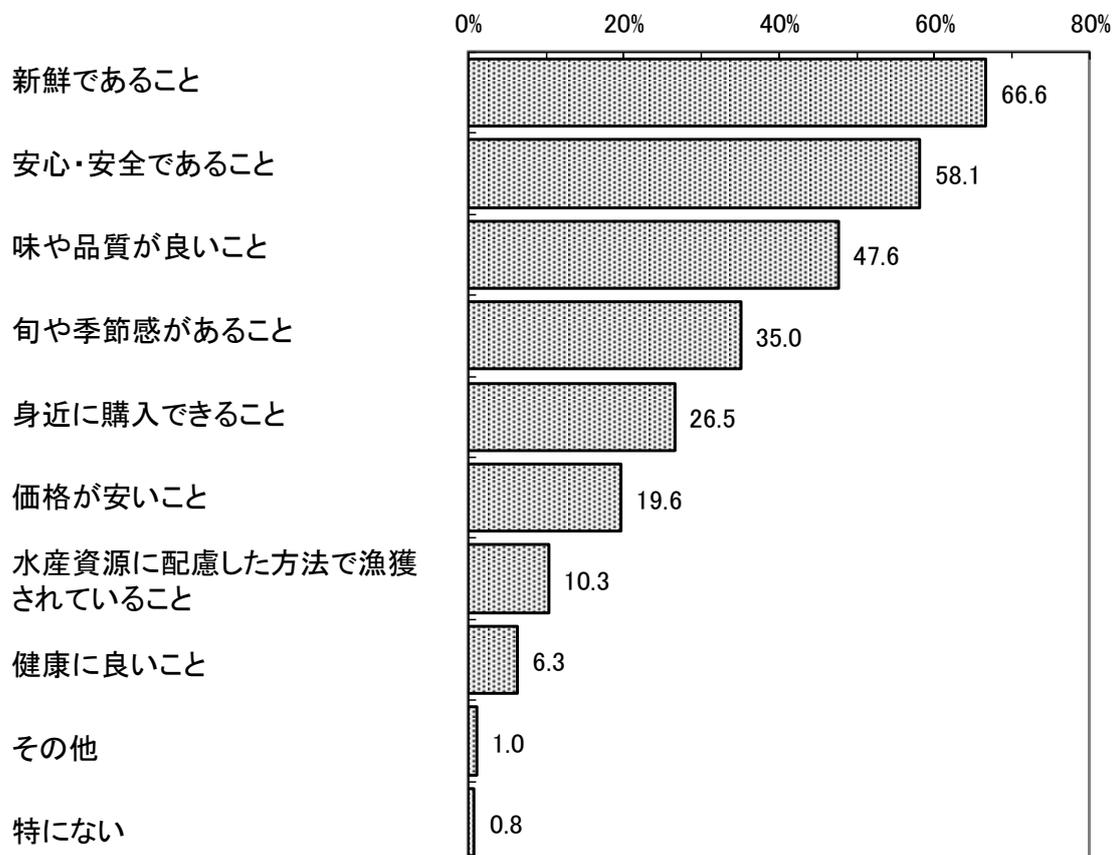
◎ その他の主な意見

- ・ 子供の頃、奥多摩の方で魚釣りをした覚えがあります。
- ・ 以前江戸川放水路でハゼ釣り、羽田沖でアナゴ釣りをしたことがある。

東京産水産物への期待

Q14 あなたは、東京産水産物にどのようなことを期待しますか。次の中から3つまで選んでください。

3MA (n=494)



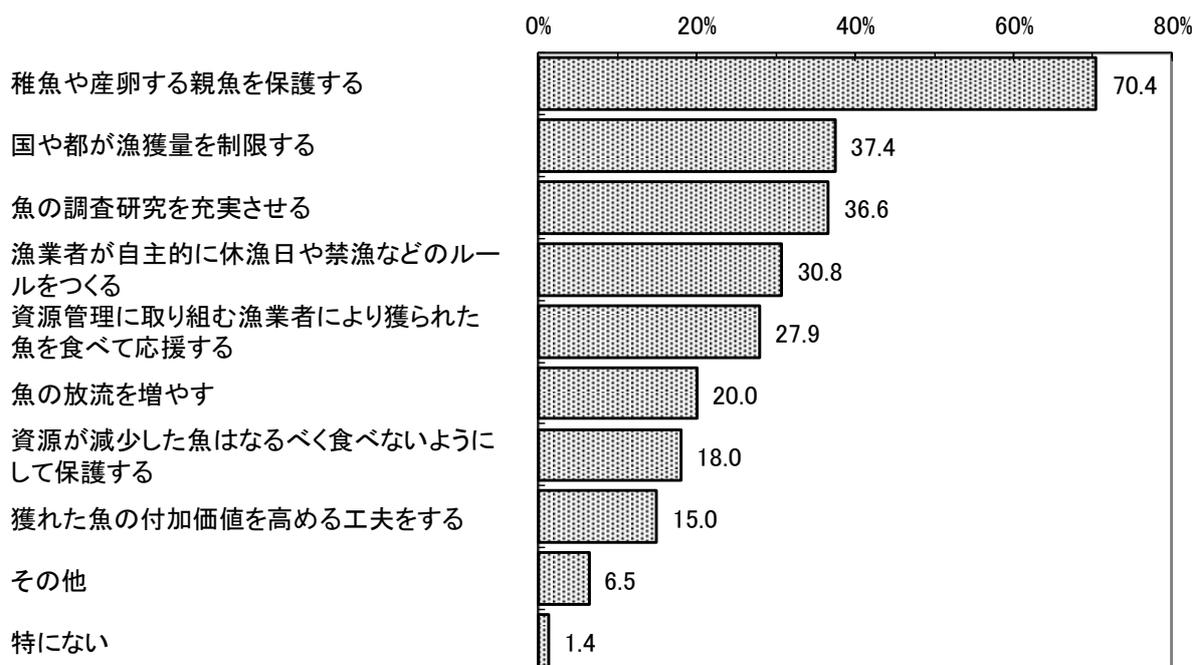
【調査結果の概要】

東京産水産物への期待について聞いたところ、「新鮮であること」(66.6%)が7割近くで最も高く、以下、「安心・安全であること」(58.1%)、「味や品質が良いこと」(47.6%)などと続いている。

水産資源の管理について

Q15 現在、多くの水産資源は減少傾向にあります。魚の獲り過ぎを防ぎ、資源を増やし、持続的な水産業を実現するための資源管理の取組を一層推進する必要があります。あなたは、水産資源を持続的に利用するために、どのような取組が有効であると思いますか。次の中から3つまで選んでください。

3MA (n=494)



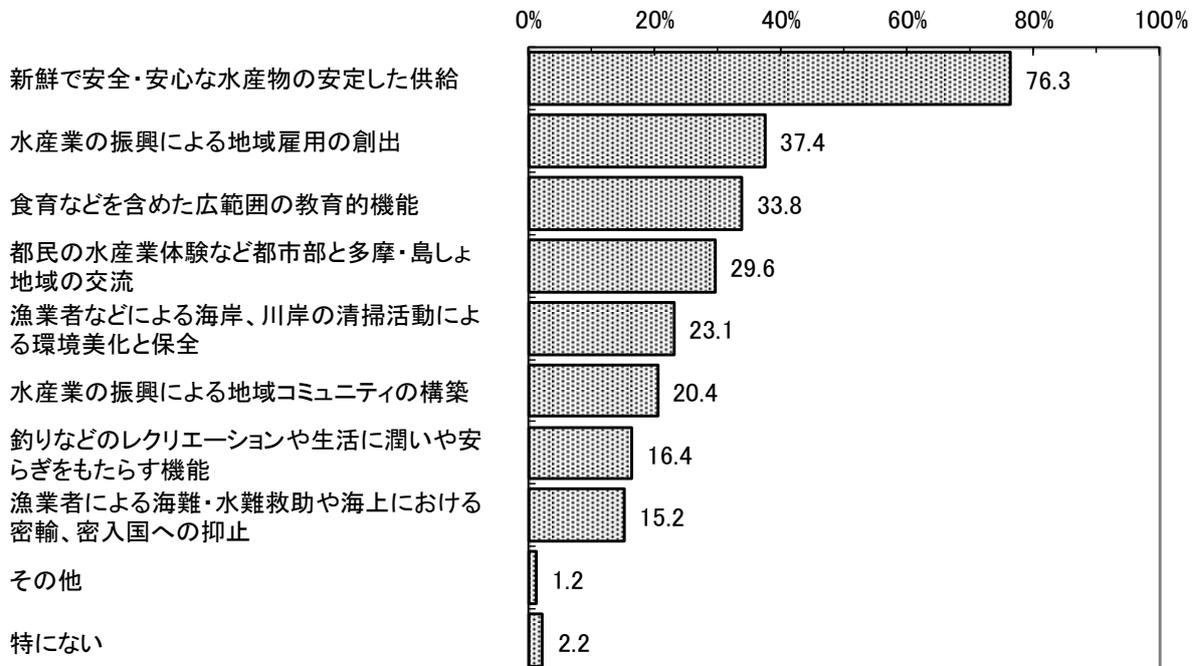
【調査結果の概要】

水産資源の管理について聞いたところ、「稚魚や産卵する親魚を保護する」(70.4%)が約7割で最も高く、以下、「国や都が漁獲量を制限する」(37.4%)、「魚の調査研究を充実させる」(36.6%)などと続いている。

東京の水産業者に期待する役割

Q16 あなたは、東京の水産業者にどのような役割や機能を期待しますか。次の中から3つまで選んでください。

3MA (n=494)



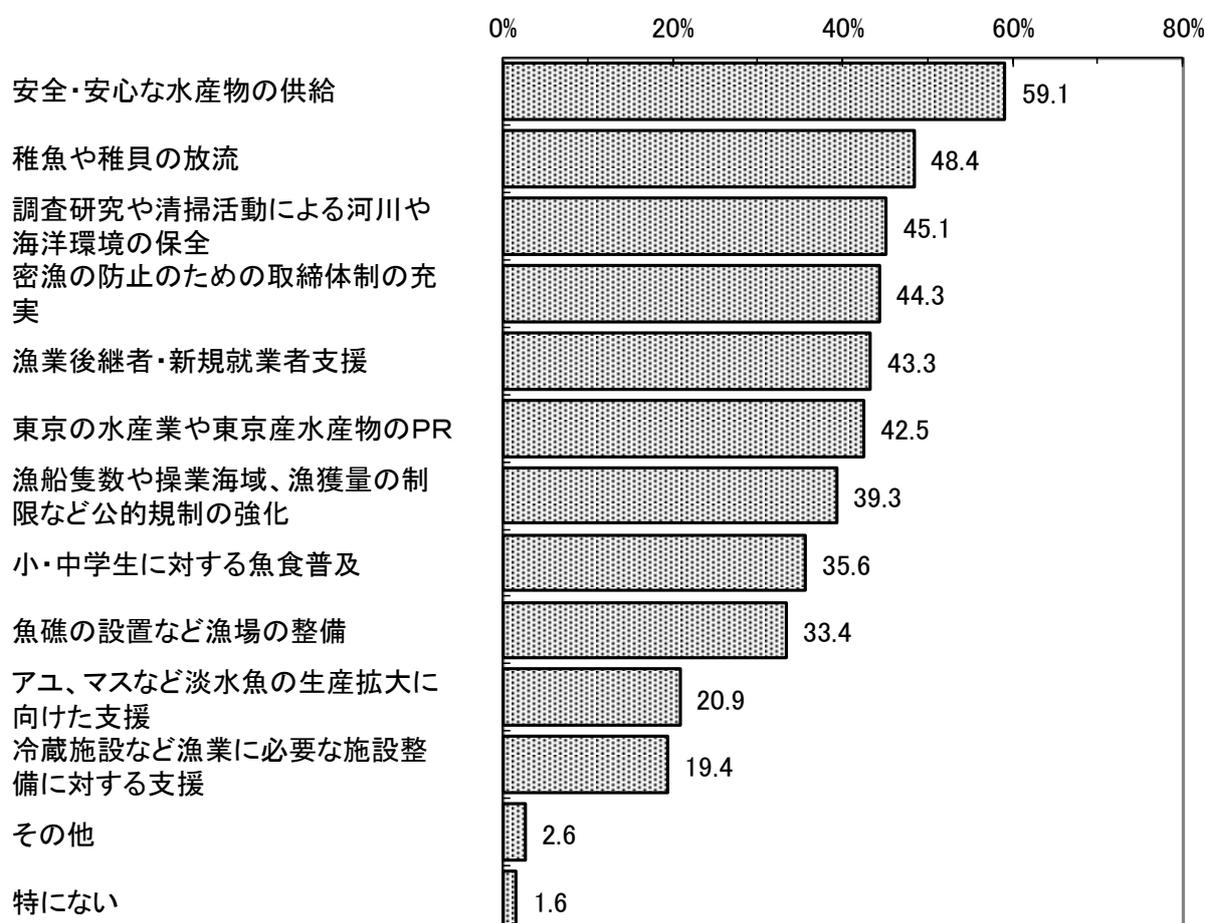
【調査結果の概要】

東京の水産業者に期待する役割について聞いたところ、「新鮮で安全・安心な水産物の安定した供給」(76.3%)が8割近くで最も高く、以下、「水産業の振興による地域雇用の創出」(37.4%)、「食育などを含めた広範囲の教育的機能」(33.8%)などと続いている。

東京都の水産行政に求めるもの

Q17 東京都は、川や海の豊かさを守り、水産業を地域の魅力ある産業とするために、様々な取組を進めています。あなたは、東京都の水産行政にどのようなことを望みますか。次の中からいくつでも選んでください。

MA (n=494)



【調査結果の概要】

東京都の水産行政に求めるものについて聞いたところ、「安全・安心な水産物の供給」(59.1%)が6割近くで最も高く、以下、「稚魚や稚貝の放流」(48.4%)、「調査研究や清掃活動による河川や海洋環境の保全」(45.1%)などと続いている。

◎ その他の主な意見

- ・ 川魚は日常的に食べるという意識がないので、食文化の啓発をする。

東京産水産物や東京の水産業について（自由意見）

Q18 東京の海や水産業（卸売業・小売業などの流通は除く。）・水産物に対するイメージ、東京の水産業振興について、あなたのご意見を自由にお書きください。

(n=441)

(1) 水産物に関する意見	209 件
(2) 水産業に関する意見	156 件
(3) 東京の海、川に関する意見	65 件
(4) その他	11 件

(主なご意見)

(1) 水産物に関する意見 209 件

- 東京都の島々の特産品は、くさや以外知らないなので、もっと身近に感じられるような広報活動をしていく必要があると思います。 (女性 10代 新宿区)
- 東京の水産物は島しょ部のイメージが強い。そのため、特に振興すべきは東京湾の水産物についてであると感じる。また、飲食店などで東京産を目にすることは非常に少なく存在自体を知らない人も多いのではないかと思う。 (男性 20代 世田谷区)
- 東京の水産を感じられる機会が少ないと思います。実際には水産物を食べたりできる施設があるのかもしれませんが、それが知られていませんので、そうしたPR活動が必要だと感じます。 (男性 20代 杉並区)
- 東京の海の水は汚れていると思っていましたが、最近は一昔前に比べてきれいになったことをテレビで見て知りました。ただ、水産物に関しては、身近に販売している店がないので、あまり馴染みがありません。東京の水産物を食べたことがないので、品質や味が分からないのが残念です。水産物が都内全域に広く流通して購入できるようになることを期待しています。 (女性 20代 日野市)
- 東京の水産物については、正直馴染みがありません。こちら（都民）も、もっと勉強する必要があるとともに、さらにPR活動もお願いしたいです。環境汚染対策が少しずつ進み、東京湾や近海の水質が改善され、さらに豊かな水産物が増えることを期待しています。 (女性 30代 杉並区)
- 江戸前の印象が強いですが、それ以外にも東京の水産物があることを知りました。もっと対外的なアピールが必要です。また、価格が高いイメージがありますが、手ごろな値段で買えるとよいです。 (男性 30代 葛飾区)

- 東京産水産物というと、江戸前のイメージが強いです。時期によってはシジミなどを見かけます。また、加工品としてくさやが有名ですが、なかなか手に取る機会がありません。東京産の水産物の中には、まだ知らないおいしいものが沢山あると思うので、積極的にPRしてほしいです。 (女性 40代 品川区)

- 東京湾の水質がきれいになってきたことで、海苔すきの体験をしたことがある。自分の住んでいる東京の海を知るためにも、実際にアサリその他東京湾の生き物を見られる機会があると嬉しい。より海を身近に感じるようになれば、住民一人一人の環境保全の意識も高まると思う。 (女性 40代 中野区)

- あまり東京の水産物が浮かばない。一番には島のくさやが印象深い。日本人の食生活が魚離れして久しい。同じフライを食すにしても、肉料理の方が馴染みがある。その部分を少しずつ変化させなくてはならない。魚を食すことの効用はよく耳にする。東京にこのような水産物があり、どう流通しているのか明らかにし、東京は大消費地だけではないのだというアピールをもっとしてよいと思う。簡便な料理法や日持ちする調理法など、魚を扱おうという宣伝はもっとしてもよいと思う。まずは、台所に立つことの多い主婦が、身近で健康に良い食材だということをよく知ることが大切だと思う。 (女性 50代 町田市)

- 学校給食などに積極的に東京産水産物を取り入れ、子供たちに親しみを持ってもらう工夫をするとういと思う。 (女性 50代 小平市)

- 歴史に絡めて、江戸前の魚や江戸～東京の漁業を紹介するようなイベント(江戸東京博物館の特別展などで)があったらよいのではと思う。 (女性 50代 日野市)

- まずは、消費量増加を仕組んでいくことが必要です。学校の給食では積極的に東京の海産物を使用していく、料理番組には素材提供を積極的にしていく、などが考えられます。消費が増加すれば漁業に勢いが出て、雇用拡大にも少しはつながると考えます。 (男性 60代 千代田区)

- 例えば、昔の「浅草海苔」のように、江戸の歴史があり、板海苔や佃煮など商品としての付加価値があるものは、魅力があると思います。そのように特徴がある水産物を振興するとういと思います。 (女性 60代 新宿区)

- 釣りが趣味のためもあり、水産物には興味大です。特に「江戸前」と聞くと、絶対美味しい!と勝手に思っています。東京湾、河川も以前に比べると水質も改善され、魚なども随分増えてきたように感じます。魚というと、調理が大変とか生臭いとか敬遠される方の意見もありますが、是非、地産地消で食卓に水産物が多く乗ることを期待します。先日「さかなクン」の講演を拝聴しましたが、大変面白く有意義でした。このような方から、もっと水産物をアピールしてもらいたいと思います。 (女性 60代 八王子市)

- 知らなかった水産物が多いのに驚いています。身近な水産物を適切な保護をして未永く利用できるようにしてほしいです。 (女性 70歳以上 大田区)
- テレビで東京湾内にとっても素晴らしい資源が(魚など)あるのを見ました。海をきれいに守り、大切な資源を守って、育てていてもらいたと思います。 (女性 70歳以上 八王子市)
- 東京都は島々も多く、多種多様な魚介類が日々の食生活を支えてくれている。東京湾や多摩川など河川の水質も改善されてきて、川魚や江戸前の魚介類も楽しめるようになった。地元で取れる水産物を、我々都民が積極的に購入することで少しでも支援につながればいいと思う。 (男性 70歳以上 清瀬市)

(2) 水産業に関する意見 156件

- 東京の水産業や水産物をより身近に感じられるイベントがあればよいと思う。積極的なPRも必要になってくるだろう。 (女性 10代 文京区)
- 東京の海は、やはり沖縄などの海に比べるとそんなにきれいなイメージはないかなと思います。東京の水産物は、江戸前ずしなど美味しいものが多いと思います。東京の水産業については、あまり身近ではなくて分からないのですが、漁業生産量が減少しているため、漁業従事者の方も減っているというイメージです。東京都には、漁業に関わる人を増やすため、若者などにも漁業の魅力を発信することなどを期待します。 (女性 20代 練馬区)
- 数年前まで東京の海は汚いイメージだった。そのため、東京の魚といえば新鮮な取れたての魚よりもくさやのような加工品のイメージの方が強かった。しかし、近年、テレビでも、東京湾で珍しい魚も含めて色々な魚が取れるというような企画を見てイメージが変わった。もっと、新鮮な魚が取れることを広報して売っていくべきだと思う。また、海が汚いというイメージと同時に密漁など悪いイメージも正直感じてた。制度を見直し、海の安全安心を守って東京都民に東京都の魚を知ってもらう機会を増やすべきだと考える。 (女性 20代 葛飾区)
- 東京湾が豊か、というイメージはありますが、実際にそれを感じる機会があまりなく、より都民がその豊かさを体感する機会はあるといいと思います。特に小中学生などが生物多様性を知る機会を増やすのがよいのかな、と思いました。 (男性 30代 品川区)
- 奥多摩では川魚、東京湾では魚介のイメージがあるが、東京の水産業に関する情報はあまり目にしたことがない。まずは、情報を広げることが必要だが、小学校くらいから身近な水産物について学んでもらうと、徐々に浸透すると思う。 (男性 30代 大田区)

- 東京の水産というと東京湾というイメージが強いですが、このアンケートを読むと小笠原諸島や島しょも東京産なんですよ。スーパーで、東京近海で取れた魚を見たことがないからイメージがなく、江戸前の寿司の魚のことしか知りませんでした。やはり、もっと島しょのPRをして、こんな美味しい魚が取れます、と宣伝したらと思います。もちろん水産加工のものでも、と思います。東京産の水産加工のものを知らなかったです。学校やイベントで紹介してほしいです。
(女性 40代 杉並区)
- 魚を食べるのが苦手という子が多いと思います。海から距離が離れているので、小中学校では、野菜の食育ほど魚と触れ合う機会がありません。水産業の方が出向いて、出前授業として目の前で魚をさばいたり、上手な魚の食べ方、骨の取り方、家庭科の授業などをレクチャーしてくれると、少しは意識が変わるのではないかと思います。
(女性 40代 練馬区)
- 東京は、肉にしても何にしても他から入ってきてるイメージが強いし、魚など子供達があまり食わなくなってきたのもあるので、水産業に触れ合う授業や何か機会を作って興味を持ってもらい、未来につながる何かができたらいいかと思えます。
(男性 50代 町田市)
- 東京の水産業は主に伊豆諸島、小笠原諸島のイメージが強い。しかし、購入に当たっては店頭で産地の表示がないか、その数をあまり見かけない。農産品同様、どこで購入できるか、身近な販売店を紹介して手軽に入手できるよう情報提供していただきたい。併せて、学校給食などで食材として提供することも消費拡大に結び付くものと思われれます。後継者育成も漁業体験者の募集などを通じて、幅広く周知宣伝することも大切です。
(男性 60代 練馬区)
- 東京の水産業の状況は、それを振興するための都の取組など、あまり知る、あるいは知ろうとする機会がないことを、このアンケートを通してあらためて認識させられた。その意味では、都として、もっと積極的に広報活動をしてほしい。
(男性 70歳以上 中央区)
- まず、きれいな海からじゃないと良い水産物は取れないと思うので、行政はそのことに力を入れてほしいです。これからは取る漁業から育てる漁業と言われていきます。養殖を考えていくのも大事だと思います。最近では天然物より養殖の方が美味しい魚もある気がします。
(女性 70歳以上 江戸川区)

(3) 東京の海、川に関する意見 65件

- 東京都の水産物と言うと、東京湾で取れた魚をイメージしますが、東京湾の水質について良い印象がないため、水質の改善と、もし水質が十分であれば、そのPRが必要と考えます。
(男性 30代 八王子市)

- 東京も、かつては河川が汚れていたが、魚が取れる位に、水質が改善されて来ている。
(男性 40代 立川市)

- 東京湾では色々な魚が取れることを期待して、ごみの不法投棄の防止や海の美化に積極的に取り組んでいけるように一人一人が行動をしていかなければいけないと思います。
(女性 50代 清瀬市)

- 東京湾が思ったよりきれいで、釣り船で回ったことがあります。水質検査をしっかりしていただき、水産資源を守り、もっと水産業が発展するとよいと期待します。
(女性 70歳以上 目黒区)